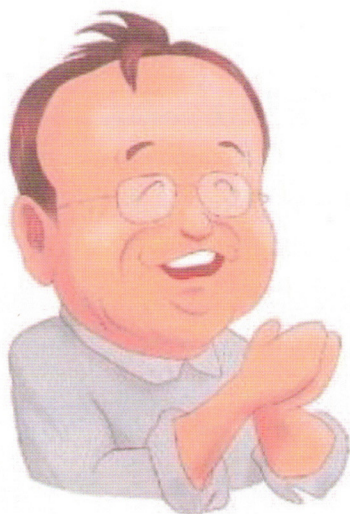


青少年育成 茂原市民会議だより



少年の主張大会



標語コンクール

今こそ「チェンジ」！

むかしむかし、おにごっこ、かごめかごめ、かくれんぼ。ひらがなが遊び文化にぴったり合った時代がありました。今の時代はネット、SNS、スマホなど、カタカナやアルファベットが合う時代になっています。日々の文化が流れる速度が速くなった感があります。ゆったりと流れていた昭和の文化が懐かしく感じられます。

それでは、過去の子どもたちと今どきの子どもたちの実態は変化したのでしょうか？結論としては、変わっていないと私は思っています。以前のように子どもたちは純粋で明るく、白色の世界にパワフルに生きています。変わってしまったのは大人の感覚なのかもしれません。これからは子供たちの未来のために、黒か白かを突き詰めていくばかりではなく灰色も受け入れてあげられるような、温かい世界を作り上げていきたいですね。

「市民会議」という名称もなかなか浸透しない面を持っていますが、市民のみなさんに愛される、親しまれる活動をめざして今こそ「チェンジ」の時。子どもたちの笑顔のために一步一步進んでいきたいと考えています。

会長 伊藤 雅敏

第13回青少年健全育成標語コンクール

今回は「災害に備えて」をテーマに市内小中学生から標語を募集したところ、1,554点にのぼる応募がありました。たくさんのご応募ありがとうございました。

厳正なる審査の結果、次の方々が入賞され、10月26日に表彰式を行いました。表彰式終了後には、千葉県災害対策コーディネーター茂原の皆さまを講師に迎え「防災教室～房総半島を襲った過去の地震から学ぶ～」を開催し、身近なものを活用した応急手当の方法などについて教えていただきました。

環境部会長 関 一仁

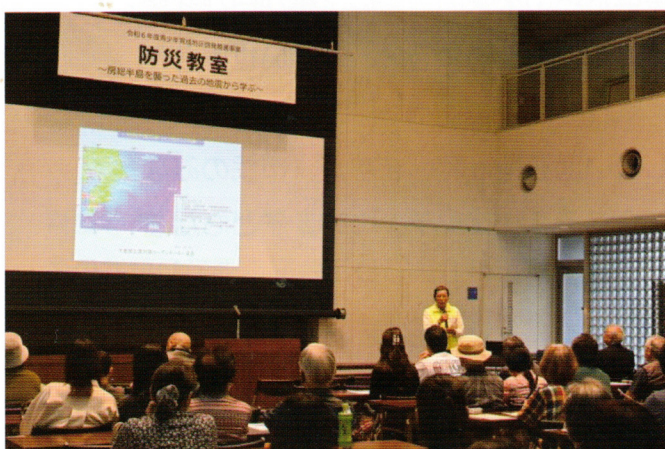
入賞作品一覧

<小学生の部>

	標語	学校名	学年	氏名(敬称略)
最優秀賞	訓練が いざというとき 身を守る	西小学校	5	福田 望結
優秀賞	防災グッズ 家族みんなで 点検を	茂原小学校	4	椎原 奈央
優秀賞	準備した? 人にたよるな! まかせるな!	東部小学校	6	佐々木 咲笑
入選	災害に 備えて家族と 話し合い	東郷小学校	6	日野 七海
入選	安心を リュックにつめよう 日ごろから	豊田小学校	6	武藤 絢音
入選	身につけよう 防災意識と ハザードマップ	五郷小学校	6	今関 結菜
入選	今一度 家族で確認 防災意識	鶴枝小学校	5	永峰 尚眞
入選	ぼうさいは 声のかけ合い たすけ合い	萩原小学校	3	三本 倅誓
入選	明日かも 今日かもしれない 大災害	中の島小学校	5	岩瀬 怜維
入選	考えよう 持ち物逃げ場所 連絡手段	本納小学校	6	齊藤 穂
入選	防災は 準備しすぎで ちょうどいい	豊岡小学校	5	森川 華帆
入選	訓練は 命を守る 命綱	二宮小学校	5	間口 愛海

<中学生の部>

	標語	学校名	学年	氏名(敬称略)
最優秀賞	防災は 備えと意識と 行動力	本納中学校	1	小松 蒼依
優秀賞	きっと来ない そんな思いが 命取り	南中学校	1	瀧口 莉功
優秀賞	災害を 地域のみんで 備えよう!	早野中学校	1	松崎 詩子
入選	緊急時 日頃の準備 備えあれ	東中学校	3	御須 優月
入選	備えよう その日が来ても 来なくても	富士見中学校	1	鶴澤 栞
入選	備えあり 命の備蓄 備えなし	茂原中学校	1	中舘 優登



講演会



標語コンクール表彰式

市内中学校から各2名、計12名が出場し、思いの題材について日頃感じていることや自身の考えを堂々と発表しました。最優秀賞および優秀賞は下表のとおりです。

また、企画・運営を担当する実行委員として、20名の中学生が大会に参画しました。8月から事前会議2回とリハーサルで練習を重ね、当日は会場設営や出場者の誘導、司会など大会を成功させるために一生懸命頑張っていました。

来年度も中学生から発表者と実行委員を募集する予定です。学校を通じてお知らせしますので、興味のある方は、ぜひご応募ください。

家庭部会長 白井 浩



最優秀賞 田畑 桜空 さん



少年の主張大会実行委員の皆さん



	学校名	学年	氏名（敬称略）	題名
最優秀賞	南中学校	3年	田畑 桜空	言葉のもつ力
優秀賞	早野中学校	3年	加藤 健心	希望の言葉
優秀賞	南中学校	3年	横山 瑞樹	未来のために

タッチバレーボール交流大会2024

～子どもたちが楽しむ特別な1日～

今回から対象を小学校全学年に拡大し、小学校1年生～2年生はサーブやラリーなどのミニゲーム、小学校3年生～6年生は実際の試合を行いました。当日は多くの子どもたちが参加し、初めての挑戦でも互いに励まし合う姿が見られるなど、参加者全員が笑顔で溢れる1日となりました。

昨年からスタートした本大会は、茂原市発祥のスポーツであるタッチバレーボールの魅力を広く伝え、競技のすそ野を広げる取り組みの一環です。これから数年かけて継続的に開催し、最終的には10チーム以上の対抗戦など本格的な大会の実現を目指しています。タッチバレーボール発祥の地、茂原市から未来へ子どもたちの成長と地域のつながりを育むこの取り組みに、ぜひご注目ください。

育成部会長 中村 正明



青少年育成茂原市民会議構成団体のご紹介

茂原市小中学校長会 会長 伊藤 信博



茂原市小中学校長会は、市内小中学校長をもって組織し、会員相互の緊密な親和・協力のもとに、市内小中学校教育の振興を図ることを目的に設立されました。

本会は、目的達成に向け、次のような事業を行っています。

- 1 「教育振興に必要な研究・調査に関すること。」
- 2 「会員の研修に関すること。」
- 3 「教育諸条件の整備改善に関すること。」
- 4 「校長および教職員の資質・待遇改善に関すること。」
- 5 「教育関係機関・諸団体との連絡提携に関すること。」
- 6 「会員の親睦に関すること。」
- 7 「その他、目的達成に関すること。」

また、各学校の要望を取りまとめ、校長会から市長や市議会議長・副議長、教育長に要望書として提出したり、各校の校長が教育関係諸団体の委員長や委員、審査員などを務め、関わったりしています。

今後も、市内児童生徒の限りない成長に向け、力を合わせて精励してまいります。

茂原市教頭会 会長 末松 佐和子



茂原市教頭会は、市内小学校・中学校の教頭をもって組織し、管理職としての資質向上を中心に会員相互の協力と親睦を増し、市教育の振興に寄与することを目的として結成されました。

本会の目的達成のために、次の事業を行っています。

- 1 「管理職としての研修活動」
- 2 「協力団体のための組織活動」
- 3 「会員相互の親睦と協力活動」
- 4 「その他必要な事業」です。

今年度の研修活動は、茂原市の現状と課題・学校における危機管理・中学校区の課題等をテーマに研修してきました。今後も、市内児童生徒の成長のため尽力して参ります。

次号

青少年指導センターおよび本納小学校区
青少年育成茂原市民会議をご紹介します。

発行日：令和7年2月1日

編集・発行：青少年育成茂原市民会議

発行責任者：会長 伊藤 雅敏

事務局：茂原市道表1番地

茂原市教育委員会生涯学習課内

TEL0475(20)1559